

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3770400400
法人名	社会福祉法人普通寺福祉会
事業所名	グループホーム仙遊荘
所在地	香川県普通寺市仙遊町二丁目3番43号 (電話) 0877-62-7215

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年11月30日	評価決定日	平成20年1月30日

【情報提供票より】(19年 10月 12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 2月 15日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤 8人、非常勤 2人、常勤換算 1人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 3階建ての1階部分
------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	18,600円+実費
敷金	有()円	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

(4) 利用者の概要(10月 12日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	3名	要介護2	3名
要介護3	3名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 86.2歳	最低 75歳	最高 99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岩本内科医院 麻田総合病院 大塚歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム仙遊荘は、市街や普通寺に近く、静かで落ち着いた環境にある。3階建ての1階部分にあり、同一法人が運営する特別養護老人ホームやデイサービスセンター等が併設され、各種行事や研修会、緊急時の対応等には連携し、協力体制をとっている。玄関前には花壇があり、鉢植えの花やクリスマスの飾りつけをする等、微笑ましい風情である。ホーム内は利用者や職員が製作した手芸品で飾られ、利用者は畳のコーナーで歓談したり、古着を慣れた手つきでほどいたりしており、和やかな雰囲気である。また、食事やおやつを工夫し、利用者や職員と一緒に手作りをして共に楽しんでいる。管理者や職員は前向きで明るく、ホームの理念である「和顔・愛語」の実践に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営理念の啓発は、「ホーム便り」の発行や運営推進会議で、地域との連携と交流を重点課題に討議し、地域に密着したサービスを目指している。個別の栄養のバランス・摂取量については、栄養士の指導を受け、利用者一人ひとりに配慮している。また、継続した研修は、各種研修会への参加や資格修得、他のホームとの交流等で資質の向上を図る等、管理者や職員は、評価の改善課題に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が評価の意義と必要性を認識しており、全職員が個々に自己評価を行い、カンファレンスをして、具体的な改善策に取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、利用者や家族、地域の代表者、地域包括支援センターの職員等の参加により、2か月に1回実施し、ホームの行事や現状を報告して、情報交換や率直なアドバイスを受けている。今後も消防署や駐在所等の参加で、緊急時の対策や地域住民との協力体制を具体的に検討し、実践に取り組むことが望まれる。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時や電話、FAXで意見や要望を聞き、カンファレンスを行い、運営に反映するように努めている。また、個別に担当者を決めて、些細な事柄もミーティングで検討し、日常生活に反映するように取り組んでいる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>管理者や職員は、利用者がその人らしく暮らしていくために、地域との連携や交流が大切であることを認識しており、地域の住民が気軽に立ち寄ってくれる雰囲気づくりを目指して、夏祭りなどのイベントの開催を検討しており、今後に期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的でその人らしい暮らしができるように、地域との連携を大切に、共に生活し続けることを目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「和顔・愛語」をホーム独自の理念とし、利用者の手書きでホールに掲示して、管理者や職員は、日常的に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアの訪問や公民館まつりへ出品したり、運動会や文化祭などの地域の行事に参加している。また、買い物や散歩時には近隣の人達と言葉かけをして、交流に努めている。	○	介護予防教室やホームの機能、役割、認知症の知識等の勉強会を開くなど、今後も地域に密着したサービスの取り組みに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は、評価を現状の支援サービスを見直す機会と捉え、全職員で討議し、改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センターや住民代表、利用者、家族等の参加で、2か月に1回開催しているが、報告と情報交換にとどまっている。	○	消防署や駐在所等にも参加を呼びかけ、緊急時の対応や地域住民との協力体制の確立など、具体的な取り組みが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>毎月の報告や運営推進会議の機会に情報交換しているが、さらに積極的な情報収集や連携をとり、地域に密着したサービスの取り組みを検討している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に状況を報告しているが、遠方の家族には電話やFAX、写真を送り、近況を報告している。金銭管理は毎月レシートを添付して提示し、家族から承認印を得ている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置しているが、家族の面会時に意見や要望を聞いて、些細な事柄もミーティングで検討し、運営に反映するように努めている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限にとどめており、事業主も馴染みの関係の重要性を認識している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的実施している同一法人の勉強会や、県の初任者研修、グループホーム協議会の研修会等に参加したり、資格修得に励んでいる職員もおり、事業主も理解があり、協力的である。</p>	○	<p>転倒や嚥下困難な状態など、緊急を要する事態に備えて、実践に即した勉強会が望まれる。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の研修会で、情報や意見交換をしている。</p>	○	<p>管理者はネットワークづくりに努めており、お互いに職場を行き来して、サービスの向上につなげている。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	個々により異なるが、雰囲気慣れるまでは日中だけの利用や、家族と同伴のサービス利用など、本人や家族と相談している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から暮らしの知恵を教わったり、職員は利用者の笑顔に励まされ、食事やおやつを一緒につくる等、共に支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別の担当者を決めて、「気持ちシート」を利用し、一人ひとりの思いを把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の個別ファイルに24時間の生活変化を詳細に記載しており、全職員がカンファレンスし、個別担当者やケアマネージャーが、本人や家族の意向や要望を課題分析して介護計画を作成し、家族に同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに、定期的に介護計画を見直しているが、心身状態の変化に伴いカンファレンスをして、本人や家族の意向を大切に現見直し、現状に即した介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や本人の要望によって、お寺参りに同行するなど、状況によって支援している。	○	今後も、入居者や家族、近隣の住民や自宅で介護されている家族に、ホームの機能を活かした事業所としての支援活動が望まれる。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時には、主治医に意見や相談をしている。入居後は、家族や本人に説明し同意を得て、専門医による診断や薬の調整、支援についてアドバイスを受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	慢性疾患の悪化の恐れがある場合や重度化した時は、今後の対応について話し合い、本人や家族に意向等を確認している。	○	重度化や終末期の対応については、事業所としての考え方や支援体制などを考慮し、明確にしておくことが大切であり、契約時に本人や家族の意向等を確認しておくこと必要であるので、今後の検討に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応は個々の状態や雰囲気によって配慮するよう、職員間で常に話し合い、支援している。情報書類は施錠し、保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	勤務体制により、決められた1日の流れに沿って過ごしている。	○	職員は、その人らしい暮らしについて日常的に話し合い、利用者の楽しみや生きがいを考慮しながら、今後の取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、食事やおやつを楽しんでもらいたい思いで工夫し、利用者の好みを取り入れて、一緒に作り楽しんでいる。地域の協力で外食に出かけることもあり、喜ばれている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は夕方であり、個別に入ったり、気の合う者同士で入る方もおり、安全に配慮して、入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	管理者や職員は生活暦だけでなく、ホームでの日々の暮らしの中で、個々の生きがいや楽しみを見つけるよう努めている。	○	家事や菜園、囲碁など、本人の可能性を見い出して、日々の暮らしが楽しいものになるよう、更なる取り組みに期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣へ散歩や買い物に出かけたり、要望によって、お寺へ参拝に出かけている。小学校の運動会に参加したり、幼稚園の発表会に行く等、交流をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は施錠することの弊害を認識しているが、ホームが一般道路に近いため、対応に苦慮しており、外出時は職員が同行している。	○	母体施設との協力で、建物の出入りが自由にできるように検討し、今後、取り組んでいくことが望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	母体施設と共同で避難訓練を定期的実施しており、近隣のタクシー会社の協力体制や緊急時の飲料水、食料などを母体施設と協力して準備している。	○	運営推進会議で討議し、災害時の地域住民との協力体制等ができるように、今後、取り組んでいくことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は母体施設と同一であるが、利用者の嗜好や咀嚼を考慮して調理し、職員も一緒に食べて見守りながら支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの中ほどに食堂を兼ねた居間があり、畳のコーナーと台所が隣接しており、調理をしながら利用者の様子や会話ができるようになっている。優しい明かりや手作りの作品でホールを飾り、居心地よく配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人の意向や状態によって畳やベッドを利用しているが、家庭から使い慣れた調度品等を持参したり、ホームでの暮らしの中で、本人や家族と相談しながら、その人らしい居室づくりに取り組んでいる。	○	日常生活のなかで、本人の好みや意向を確認しながら、居室が、利用者にとって居心地のよいものとなるよう、さらに工夫した取り組みを期待したい。